

ひなん さい しえん ひつよう かた 避難の際に支援が必要な方の

こべつひなんけいかく 「個別避難計画」を

いっしょ かんが
一緒に考えてみませんか？

こべつひなんけいかく

個別避難計画とは、

こうれいしゃ しょう しゃ かた さいがいじ ひとり
高齢者や障がい者の方などのうち、災害時に一人では
ひなん こんなん かた ひなんこうどうようしえんしゃ
避難することが困難な方（避難行動要支援者）につい

て、あらかじめ「いつ」「どこへ」「誰と一緒に」「どうや
って」避難するのかを、具体的に決めておく「命を守る
ための計画」です。

さいがい お まえ
災害が起きる前に

あんぜん ばしょ ひなん
安全な場所に避難したいけど、

じぶん かぞく ひなん
自分や家族だけでは避難できない…

きんじよ しんばい ひと
近所に心配な人がいるけど

じぶん たす むずか
自分ひとりでは助けてあげることが難しい…



とき こべつひなんけいかく きょうりよく つく
そんな時こそ個別避難計画を協力して作りましょう！



■^{ひと} ^{けいかく} ^{つく} **どんな人の計画を作るの？**

^{くらしきし} 倉敷市が^{ちようさ} アンケート調査を^{じっし} 実施し、^{じりき} 自力や^{かぞく} 家族だけの^{ひなん} 避難が^{こんなん} 困難な方として^{かた} 「^{ひなんこうどう} 避難行動要^{しえんしゃ} 支援者^{めいぼ} 名簿」への^{けいさい} 掲載を^{きぼう} 希望された^{やく} 約3,000名の^{めい} 方が^{かた} 対象^{たいしyou} です。

なお、^{めいぼ} 名簿に^{けいさい} 掲載されていない方であっても、^{かた} いざというときにスムーズな^{ひなんこうどう} 避難行動をとるために、^ひ 日ごろからの^{そな} 備えとして^{さくせい} 作成しておきましょう。

■^{たいしyou} ^{しや} **対象者はどうやったら分かるの？**

^{たいしyou} 対象者を^{きさい} 記載した^{めいぼ} 名簿は、^{きぼう} 希望のあった^{じしyou} 自主防災組織、^{ちくしや} 地区社会福祉協議会や^{きぎかい} コミュニティ協議会の^{かいちyou} 会長等、^{ふくしじぎ} 福祉事業所等の^{せきにん} 責任者へ^{はいふ} 配布しています。

また、^{あら} 新たに^{はいふ} 配布を^{きぼう} 希望される^{じしyou} 自主防災組織等の^{かた} 方は、^{おぼえがき} 覚書の^{ていけつ} 締結を^{おこ} 行いますので、^{しぼうさい} 市防災推進課へ^{とい} お問い合わせ^あ ください。

■^{だれ} ^{だれ} ^{いっしよ} ^{けいかく} ^{つく} **誰が誰と一緒に計画を作るの？**

^{ひなんこうどう} 避難行動要支援者の^{いのち} 命を守るための^{まも} 計画なので、^{けいかく} まずは^{ほんにん} ご本人や^{かぞく} そのご家族が^{しゆたいてき} 主体的に^{さくせい} 作成する^{ひつよう} 必要があります。一方で、^{いっぼう} 自分たちで^{じぶん} 作成できない方も^{さくせい} います。

また、^{さくせい} 作成した^{けいかく} 計画の^{じっこうせい} 実効性を^{たか} 高めるためにも、^{じしyou} 自主防災組織や^{ちくしや} 地区社会福祉協議会を^{ちゆうしん} 中心とした^{ちいき} 地域住民と^{いっしよ} 一緒に^{ふくしせんもんしよく} なり、^{ぎようせい} 福祉専門職や^{ぎようせい} 行政と^{きょうりよく} 協力して^{けいかく} 計画を^{さくせい} 作成することが^{じゅうよう} 重要です。

■^{つく} **どうやって作ればいいの？**

^{ぐたいてき} 具体的な^{さくせい} 作成方法については、^{だまえ} 出前講座等を^{つう} 通じて^{しゅうちけいはつ} 周知啓発を^{おこな} 行っております。

また、^{さくせい} 作成手順等の^{てびき} 手引きなど、^{ひつよう} 必要な^{しりよう} 資料を^{ようい} 用意していますので、^{しぼうさい} 市防災推進課へ^と お問い合わせ^あ ください。

^{といあわ} 問合せ先 ^{さき} 倉敷市防災推進課 ^{でんわ} 電話 086-426-3131

Email dapvt@city.kurashiki.okayama.jp

